

<タイプ別目標構造表（中学生Ⅱタイプ-ver. 2）>

大目標：日本での学校生活、日常生活への自信と意欲、それを裏付ける基礎知識・基礎技能

中目標 1：学校生活、日常生活に必要な基礎知識・基礎技能を身に付ける

小目標	達成目標	リスト
1) 「模擬学校」としてのセンターでの生活に必要な基礎知識を身に付け、適切な行動ができる。	①日直の仕事が果たせる	◇教室内外の整備（チョーク、その他備品、掃除）、教師との連絡、昼食関係（食券、配膳、後片付け）、学級日誌の管理、短学活の運営、号令
	②センターの規則とマナーを守って行動できる	◇遅刻欠席早退の届、時間、飲食、内履き外履き、保健室の利用、身分証の携帯、教材や物品の貸し出しと管理、衛生（ごみ処理等） ◇トイレの利用、事務室の入退
	③中学生クラスのきまりにそって行動できる	◇禁煙、酒・化粧・装身具の禁止、団体行動、問題発生時の対応（謝る等）
	④通知の内容に留意し、保護者との連絡や必要な説明ができる	◇授業参観・三者面談・家庭訪問・社会科見学等のお知らせ、弁当等持ち物の準備
	⑤日本での生活にあたり食生活と清潔な身嗜みについて留意すべき点について知る	
	⑥時間割に従って、授業やテストの準備ができる	◇テストの準備と処理、予習復習、宿題の処理、プリント整理、既習内容整理、授業に必要な教材・教具の準備
2) 日本の中学校活に必要な知識を身に付ける	①学校制度／日本の学校制度について知る	◇学齢と学制、義務教育制度、進学率（高校大学）、教育費
	②中学校事情／日本と中国の学校生活の違いについて知る	◇中学校の一年（三学期制・行事）、中学校の一日（一日の流れ・掃除）、生徒会組織（クラブ・委員会・生徒会）、学校施設、教科、校則、PTA等の活動
	③中学生の生活／日本の中学生の日常生活の様子や興味のあり方について知る	◇友達づきあい、習い事、流行、遊び
3) 学校外の生活行動場面に必要な知識と技能を身に付ける	①交通ルール／徒歩や自転車での通行に関する交通ルールや注意事項を守って通行できる	◇車は左人は右、信号、道路・踏切の横断、自動車の内輪差、危険行為
	②交通／前もって行き方を教わっていれば、目的地まで電車やバスを利用して行ける	
	③買い物／商店の形態の違いや流通の仕組みの概略を知り、買い物上の留意点に配慮して買い物ができる	◇デパート、スーパー、コンビニ、個人商店 ◇流通機構、価格決定の仕組み、消費税 ◇マナー、表示（価格、製造年月日）
	④電話／電話利用に必要な知識を身に付け、利用できる	◇電話普及の実態、料金の仕組み、電話の役割（緊急時、諸連絡等）、 ◇電話機の種類と使い方、電話のマナー（含：間違い電話）、家に来た電話の取り継ぎ、相手の名前や電話番号の記録、学校への欠席遅刻の連絡（保護者ができないとき代理で行う）、学校の連絡網の取り継ぎ、センターへの実習における現在地の報告・緊急時の連絡

	⑤公共施設／図書館や体育館などの公共施設を知り、規則に従って利用できる	
	⑥訪問／訪問の際に必要な和室や食卓での基本的なマナーを身に付ける	◇和室でのマナー（立ち居振る舞い、お茶の飲み方）、コーヒー紅茶の飲み方、ナイフとフォークの使い方、食べ物の断り方

中目標 2：将来の生活に有用な基礎知識を身に付ける

小目標	達成目標	リスト
1) 帰国者二世として自分の置かれた状況について考えてみる	①歴史背景／帰国者問題の歴史的背景について知る	◇満蒙開拓団と残留孤児
	②帰属意識／中国と自分の関わりについて考えてみる	◇帰属意識と国籍、中国語の必要性和保持の方法（家庭でのコミュニケーションの手段として、自分の技能として）
	③適応問題／事例を通して日本の中学校生活で起こりうる問題について考えてみる	◇言葉と学力の問題、生活習慣の問題（物の貸し借り、食べ物において、弁当の中身等）受け入れ側の不慣れの問題（中国観、帰国者観） ※食べ物において・歯磨き→1-1-⑤保健、1-2-③日本人生徒の衛生観
2) 帰国者二世の進路進学事情について知る	①中学校編入／センター修了直後の進路事情について知る	◇中学校編入学年について（学年決定の要因学齢と実年齢）、中学編入以外の進路（夜間高校、日本語学校、職訓校、専門学校）
	②進学／帰国者二世のための進学に関する情報について知る	◇特別入試、奨学金
	③情報収集／進路を決める際に必要な情報の入手方法について知る	◇学校で相談する、先輩帰国者に相談する、直接問い合わせる、公的機関（帰国者相談コーナー等）に問い合わせる

中目標 3：学習活動に必要な基礎知識・基礎技能を身に付ける

小目標	達成目標	リスト
1) 日本の中学校の教科内容についての基礎知識と基礎技能を身に付け、教科の活動とそれに伴う受け答え	①技能教科／技能教科の活動に親しむ	◇〔音楽〕ハ長の五線譜、ソプラノリコーダー、日本の歌／〔体育〕着替え、整列、ラジオ体操、体力測定／〔美術〕水彩絵の具／〔家庭科〕弁当調理、裁縫（ミシン）
	②数学科／数学科に必要な用語や用具の使い方を知る	◇数字、記号符号、単位、図形名称などの読み方 ◇コンパス、分度器、定規を用いての作図
	③国語科／原稿用紙や毛筆の使い方を知る	
	④地理／地図の見方や図表の読みとりに慣れるとともに、主に日本を中心とした簡単な地理の知識を身に付ける	◇『社会科の基礎・上』 ◇日本の行政区分・気候・産業、世界の国々の名称と位置
	⑤歴史／日中関係を中心とした日本の歴史についての簡単な知識を身に付ける	◇日中の時代区分の対応、日中関係の主な出来事

	⑥公民／ <u>日本国憲法の特色</u> について知る	◇憲法の三大原則（戦前と戦後の比較を中心に）
	⑦テスト／テストやワークブックの形式や指示に慣れる	
	⑧教科書／ <u>教科書の構造</u> を知り、目的に応じて利用できる	◇目次、索引、見出し、小見出し、ゴチックの重要語、脚注（地理や歴史の教科書を用いて）
	⑨グループ活動／ <u>学習活動としてのグループ活動</u> に親しむ	◇計画、実行、まとめ、発表など（グループ全体として、個人として）
	⑩補充／ <u>補充が必要な部分や興味のある分野</u> についての簡単な知識を身に付ける	◇見取図や平面図、一次関数、図形の面積・体積、 ◇『文型数学』、『社会科の基礎下』、『英語文法の参考』、『日本的歴史』その他中学校の教科書、問題集等（自学自習による）
2) 自己学習に必要な技能を身に付ける	①辞書／ <u>辞書の有用性</u> を知り、わからない語を調べることができる	◇日漢辞典、漢字辞典、中日辞典
	②学習計画／ <u>自分の学習方法</u> を評価してみる	◇学習方法を意識した上で学習計画を立て、結果を自己評価してみる

中目標 4：中学校生活及び将来の学校生活の基礎となるコミュニケーション力を身に付ける

小 目 標	達 成 目 標	リ ス ト
1) 将来の学力言語の基礎となる日本語力を身に付ける	文字／平仮名、片仮名、 <u>日常よく使われる漢字のなめらかな読み書き</u> ができ、また、ローマ字の仕組みが理解できる	◇50音図の仕組み、仮名表記の語の音読、漢字仮名混じり文の音読、日中の漢字字体の異同、『日本の漢字と中国の漢字』の書き、『身のまわりの漢字』の読み書き ◇ローマ字仮名対照表、ローマ字表記の地名、自分の名前のローマ字表記
	語彙／ <u>基本的な語彙や表現の意味</u> を知り、使える	◇『基本単語表』 v レベル
	文法／日本語の文法についての <u>基本的な知識</u> を身に付ける	◇『日本語のきまり』（単文の基本構造、文体、動詞の活用形、テ形を使った表現、可能受け身、使役、授受、敬語、接続詞）
	読解／ <u>中学校の教科書や読解教材</u> を読んで大意を取り、内容についての簡単な質問に答えられる	◇教科書の絵や図表を手がかりに大意を理解、教科書の見出し語やタイトルから大意を推測、既習の語彙や漢字熟語を手がかりに大意を推測、文法項目を手がかりに短文の意味を理解、設問の読みとりと解答にあたる部分の取り出し、キーワードに注目した要点の取り出し
	作文／ <u>文型を用いた短い文や文例</u> にならった作文が書ける	◇簡単な日記、自己紹介文、実習報告文、時候の挨拶状、お礼状
2) 教師や同級生と良好な関係を作るために、適切な話題や方法でコミュニケーションできる	コミスト／ <u>コミュニケーション・ストラテジー</u> を効果的に用いて、 <u>適切かつ積極的にコミュニケーション</u> に関わることができる	◇動作、筆談、絵、類推、具体物、言い替え、相手の発話が伝わらないときの対処 ◇話題準備、場や相手にふさわしい話題選択の必要性、ですます体と普通体の区別
	話題／ <u>自分に身近な話題</u> でコミュニケーションできる	◇『私のこと』シリーズ、簡単な自己紹介、家族、故郷、中国での生活、中国の学校、好きなこと、したいこと、食べ物、中国の行事